

喜右エ門堤 ハザードマップ 両津地区 住吉

氾濫解析の前提条件

地震や大雨によって、万が一ため池が決壊した際に、浸水が予測される範囲や浸水の深さ及び到達時間を「氾濫解析シミュレーション」により求めたものです。(決壊から最大60分後まで計算)

喜右衛門堤は「堀込式」のため、満水時(洪水吐底面の水位)に堤体が決壊してもため池の貯水が流出することはありません

本マップでは、洪水吐の閉塞等により、さらに水位が上昇し、天端まで貯水された状態で堤体が瞬時決壊(天端から堤高まで)し、堤高(0.8m)分の貯水量(2,400 m^3)が流出すると想定しています

※災害の状況によっては、表示されている範囲以外でも浸水する可能性がありますので、注意が必要です。(河川氾濫や内水氾濫は未考慮)



凡 例	
	氾濫水の到達時間
	ため池氾濫による最大浸水深
	3.0m以上の区域
	2.0～3.0m未満の区域
	1.0～2.0m未満の区域
	0.5～1.0m未満の区域
	0.3～0.5m未満の区域
	0.3m未満の区域
	その他危険区域
	土砂災害警戒区域

ため池諸元 ※ため池台帳より	
築 造 年 代	大正時代
堤 高	8.0m 現況0.8m (3.6)
堤 長	37.0m
天 端 幅	3.4m
貯 水 量	9,000 m^3 (2,930)
受 益 面 積	13.3ha
管 理 者	原黒沖田水利組合
※()内は、令和2年4月の計測値	
※堤高()内は、天端高と池底高の高低差	

津波・土砂災害・洪水に関するハザードマップ

ため池が決壊するおそれがある状況では、周辺で河川の氾濫や土砂災害、沿岸部では津波も発生する可能性があります。佐渡市では、津波・土砂災害・洪水に対しても下記のとおりハザードマップを作成・配布しています。(佐渡市ホームページ「佐渡市防災情報」からも閲覧可能です)

- 佐渡市地域防災マップ (加茂・両津・吉井・河崎地区版) 平成31年3月作成

